

歴史街道 飛鳥・奈良・京都歴史探訪マップ

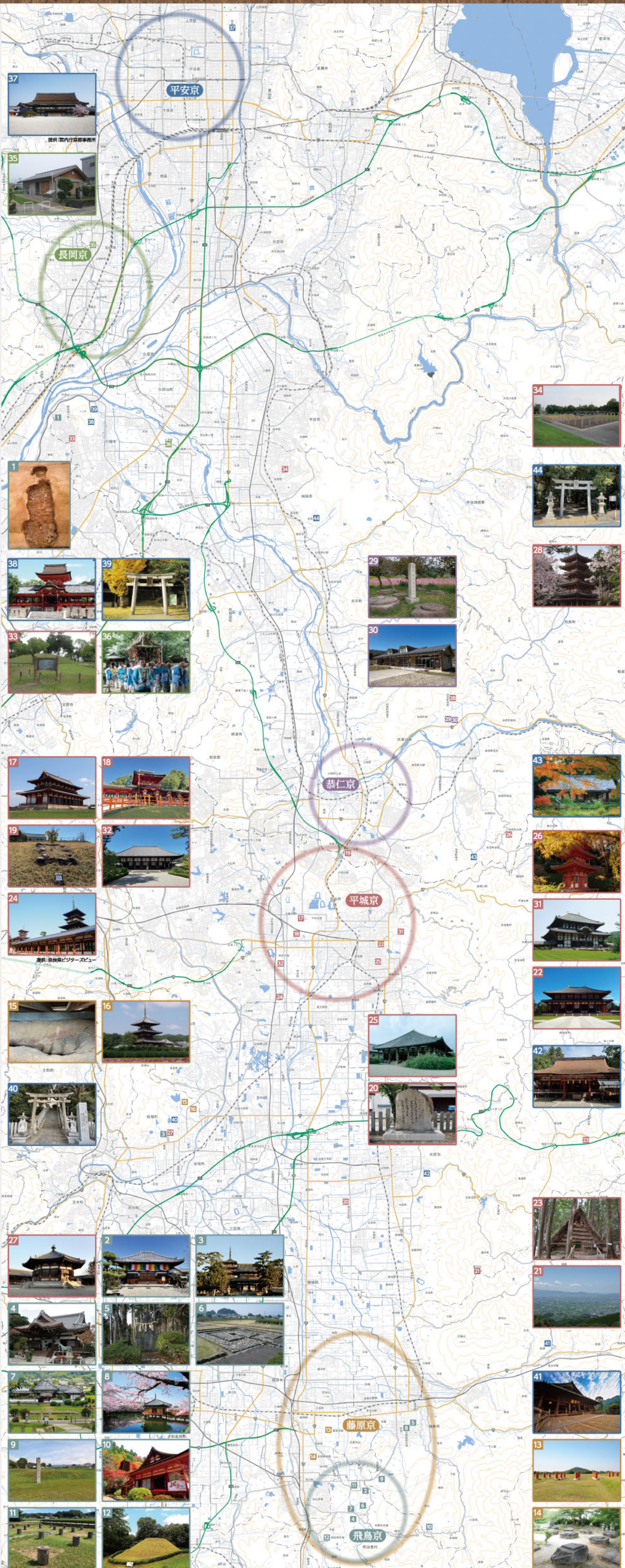
いにしえ

古の「みやこ」編

飛鳥・奈良・京都連携協議会／歴史街道推進協議会

年表

44	平治の乱
1156	保元の乱
43	後三年の役
1083	前九年の役
1051	前九年の役
1051	前九年の役
11世紀頃	源氏物語などかな物語が流行
41	源氏物語などかな物語が流行
40	藤原純友の乱(承平・天慶の乱)
939	平将門の乱(承平・天慶の乱)
935	平将門の乱(承平・天慶の乱)
901	菅原道真、大宰府に左遷
894	菅原道真、遣唐使中止を進言(宇多天皇)
38 39	空海真言宗を始める
806	最澄天台宗を始める
805	坂上田村麻呂、征夷大將軍に就任
794	平安京遷都(桓武天皇) 37
784	長岡京遷都(桓武天皇) 35 藤原種綱
768	藤原氏により春日大社が御蓋山山間に創建される
754	麁和上來と上人、律宗を伝える
752	東大寺大仏開眼供養(聖武天皇) 行基
745	平城京へ再遷都(聖武天皇) 難波宮遷都、紫香楽宮遷都(聖武天皇)
743	聖牛永年賄財法の制定(聖武天皇)
741	国分寺・国分尼寺建立の詔(聖武天皇)
740	恭仁京遷都(聖武天皇) 29 30 26 27 28
723	三世一への法制定(元正天皇)
718	養老律令編纂(元正天皇)
710	平城京遷都(元明天皇) 17 18 19 20 21 22 23 24 25
708	和同開珎の鋳造(元明天皇) 15 16
701	大宝律令制定(文武天皇)
694	藤原京遷都(持統天皇) 13 14
683	富本錢鑄造(天武天皇) 12
673	天武天皇即位
672	壬申の乱(大海人皇子・大友皇子)
670	庚午年籍制定(天智天皇)
663	白村江の戦い(中大兄皇子) 11
646	改新の詔
645	大化の改新 9 10
630	遣唐使を派遣(大友田鉄) 7 8 飛鳥岡本宮遷都 5 4 5
607	法隆寺建立 3
607	遣隋使を派遣(小野妹子)
604	17条憲法制定
603	冠位十二階制定
593	聖德太子、推古天皇の摂政に就任 1 2
592	推古天皇即位 豐浦宮(飛鳥)遷都
592	蘇我馬子、崇峻天皇を殺害
538	仏教伝来
4世紀	大和朝廷による統一 各地の有力豪族が古墳を造営



本マップ作製の狙い

本マップは、歴史街道メインルートの一部である飛鳥-奈良-京都地域の魅力を可視化して、地域の歴史を時間(=縦軸)とエリア(横軸)で捉え、時代と地域に横串を刺す歴史の繋がりのおもしろを味わっていただくという「歴史・文化の新しい楽しみ方」を提案し、実際に現地を巡ってもらう「さっかけ」となることを狙いとします。

歴史街道とは

歴史街道とは、日本の歴史文化を体感できるルートです。歴史街道には、伊勢から飛鳥、奈良、京都、大阪、神戸を時代のながれにそって結ぶ約300キロのメインルートと世界文化遺産などの貴重な歴史文化資源や豊かな自然を地域のテーマにそってする3つのネットワークがあります。



歴史街道HP



平安京 794年～

37 京都御所

古来の内裏の形態を保存しており、現在のものは1855年の造営、紫宸殿、清涼殿、小御所、御学問所、御常御殿と平安時代以降の建築様式の移りかわりを見ることができる。

39 高良神社

860年に僧侶・行教が創立したと伝わる。兼好法師の「徒然草」に仁和寺の法師が石清水八幡宮本殿と誤て参詣したといい逸話のある、社殿は1863年鳥羽伏見の戦いで焼失し、1848年に再建。

41 長谷寺

創建は8世紀前半と推定される。平安時代になると参詣者が絶えず、藤原道母(「船岡記」の作者)や菅原孝標女(「更級日記」の作者)が訪ね、藤原道長も日々参拵したとされる。

42 淳福寺

天慶元年(938～947)に、興福寺館で法隆寺別当であった湛照院が白河天皇に贈られたとされる。明治初めの御仏分離令で、法隆寺から離れて法隆寺の領寺となった。

43 泥瑠璃寺

寺号は、三重塔の内側に安置されている薬師如来の淨土「淨瑠璃世界」から、池を中心に、東に薬師仏、西に阿弥陀仏を配した庭園は極楽世界を表し、本堂には九体の阿彌陀如来を安置。

44 丹生都比賣神社

極楽院地の神主。近世は青大明神と天満宮を祀っていた。久世郡神明帳では、祭神は以仁王・菅原道真の2神とされる。本殿は二間社流造で17世紀前半の建築とされる。

長岡京 784年～

35 長岡宮跡

長岡宮跡は、784から10年間、乙訓(おとく)の帝に營まれた都・長岡京の中心部。宮城はすべて現在の向日市域にあり、大極殿跡や朝堂院跡が国の史跡に指定されている。

恭仁京 740年～

29 恭仁宮跡(山城國分寺跡)

恭仁京は5年間だったが、741年に国分寺・国分尼寺建立の詔、743年に大仏造立の詔、蟹田水年払財法の発布があり、歴史上極めて重要な時期。大極殿跡と七重塔跡が残っている。

平城京 710年～/745年～

17 平城宮跡

第一次大極殿は、天皇の御位式や外国使節との会面など、重要な儀式に使われていた平城宮最大の宮殿。朱雀門は、門前の広場は、外国使節の送迎や、歌頌などが行われる祝祭の場だった。

19 市坂瓦窯跡(上人ヶ平遺跡公園)

奈良陵は粘土と燃料に含まれ、瓦の大発掘点となった。木津川市の市坂瓦窯跡と奈良市のかかと瓦窯跡は「奈良瓦窯跡」として国の史跡となっている。

21 龍王山山頂(南城跡)

山頂から眼下を見下ろせば、奈良盆地が望める。藤原京から平城京への三官道(上ノ道・中ノ道・下ノ道)を景色に重ね、当時の人々の營み、遷都に思いを馳せることができる。

23 復元冰室

天理市・福住地区では、氷を冬季に作り保存し、夏になると朝廷一般の「冰室」。日本書紀にも記され、平城京長屋王屋敷跡からは「都祁氷室」と書かれた木構が出土。

25 元興寺

718年平城遷都に伴い法興寺を移転。極楽堂と禪室の屋根に飛鳥時代の瓦も残存。境内から無数の石仏と民俗資料が出土。奈良時代の造形藝術や国内の信行僧像が安蔵。

27 法隆寺 夢殿

730年頃、聖徳太子の菩提を頒して高僧行基僧都により、斑鳩宮の跡地に建立。東院御體の中心となる建物(国宝)であり、室内には、秘仏・菩薩坐像や国内の信行僧像が安蔵。

31 東大寺 大仏殿

大仏殿は、東大寺の本堂。大仏造立は、聖武天皇が災害や政変、反乱など社会が不安な時代、生きる全てのもののが来れるようにと奉願された。大仏殿は、1195年と1709年に再建された。

33 足立寺史跡公園

男の山で発見された古代寺跡。奈良時代の有名な役人・和氣清麻呂が建てた足立寺といわれる。この場所から西南50mの辺りで発見された塔やお堂の礎石、瓦窯跡を移築している。

藤原京 694年～

13 藤原京跡

藤原京は、中国の都城を参考にした日本で初めての本格的な都。南北約4.8キロメートル、東西約2.5キロメートルと広大で、天皇が居住している藤原宮が中央に在るのが特徴である。

15 史跡 三井瓦窯跡

7世紀後半～8世紀初頭、法輪寺と法起寺の瓦を焼いていた法起寺西側の尾根丘陵斜面にある瓦窯跡。近くからは、複数の瓦が採集されている。

飛鳥京 592年～

6 飛鳥宮跡

7世紀に4時期(飛鳥岡本宮、飛鳥板蓋宮、飛鳥飛鳥岡本宮、飛鳥淨御宮)の宮殿遺跡がほぼ同じ場所に重複して造営された。檜皮や板蓋で覆われ山にまぎれ防衛に適した立地であった。

2 飛鳥寺

日本で最初の本格的伽藍を持つ仏教寺院(596年完成)。寺の伽藍配置や石造は百濟・高句麗との強い関わりを示している。本堂に606年に完成した軒向來坐像が安置されている。

4 桶寺

7世紀前半頃に造営された四天王寺式伽藍を備えた仏教寺院。尼寺であった。飛鳥宮の西側という重要な位置を占め、東を正面とする伽藍配置から、飛鳥宮との強い関連性が認められる。

7 川原寺

7世紀頃に造営された天皇発願の仏教寺院。宮殿と寺院がセットになる代表例。飛鳥宮の西に對峙し、東門が大きくなっている。伽藍配置は新たに創出されたものの、実の文様は中國の影響。

9 特別史跡 山寺跡

乙の森で中大兄皇子園についての藤原氏を滅ぼした藤原山寺(山石)と藤原の陵墓の間に641年に建始められた。奈良時代の造形藝術留学生・安倍仲麻呂や平安時代の安倍晴明の出生寺とされている。本尊の日本最大の文殊菩薩像は、難波時代の大仏師・快慶の作。

11 飛鳥水落遺跡

660年に造られた日本最初の水時計台の跡。正確な時間測定機能(水時計)台は、中国(唐)の知識・技術によって作られ、「日本書紀」には中大兄皇子が作ったと記されている。

12 高松塚古墳

日本で初めて発見された墳塚古墳。7世紀末頃～8世紀初頭に築造。石槨内壁面に漆喰を取り、側壁には御神石(朱雀を除く)と日月像、16人の男女群像、天井に星雲図が描かれている。

